

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様の尊厳の保持、自立支援、安心安全等を目的とし、透明性のある事業運営に取り組んでいます。地域に根付いた活動に重点をおき、倫理規定でもある内規「ホームふるさと心得」を掲げ、朝礼で確認をしています。	理念については玄関に掲示すると共に業務報告書に貼り付け毎日のミーティング時に読み合わせを行い共々と実践に繋げている。合わせて運営推進会議の中でも必ず理念に沿った支援について話をしている。家族に対しては利用契約時に説明している。また、「利用者を尊重する」他10項目からなる斑尾の森スタッフの心得も確認し合い、質の向上に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	永田小学校の方からの「運動会」、「音楽会」のお誘いや、豊田中学校1年生の「福祉体験学習」の受け入れ、また区の「おてんま」、「回覧板」旧ホーム在住の「地域おこし協力隊」との交流も生まれ、より一層地域の方々との結びつきが深まりました。	区費を納め地域の一員として活動している。区長や民生委員を中心に、その都度、地域の行事案内を頂き、文化祭の時にはお祝いのお饅頭も頂いている。また、小学校の運動会に招待を受け、席を準備いただいている。新型コロナウイルスの影響で地域との交流活動も自粛状態が続いているが、市の福祉課に傾聴ボランティア来訪の申し込みを行っている。開設以来地域の皆様と親しく交流を続けており、リンゴを始め季節の果物や野菜を沢山頂き、食事に役立っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣のお年寄りが、どんなところか個々でみえたり、集団で見学にみえたりしました。その際、認知症になっても安心して快適に生活できる旨を説明しました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年の3月以降はコロナの関係により書面での運営推進会議となり、ご意見もいただけるようにしているが、なかなかお返事はいただけず、こちらからご意見を伺いに行くこともあります。	家族代表、区長、民生委員、市高齢者支援課職員、ホーム関係者の出席で2ヶ月に1回開催している。理念・運営方針・サービス提供の方針について、利用者状況・行事報告、活動報告。事故報告、意見交換等を行い、運営に活かしている。現在は新型コロナウイルスの影響で書面での会議開催となり、意見や助言も書面でいただくようにしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護の方が増えてきたこともあり、書面やお電話にて報告・相談しています。時には直接お伺いしたり、向こうからも来ていただいたりなどしています。	現在生活保護を受けている利用者があり、市の生活保護係、高齢者支援課と連携を取り様々な事柄について相談している。介護認定更新調査は調査員がホームに来訪し職員が対応している。利用者が楽しみにしている市の介護相談員の来訪が新型コロナウイルスの影響で中止となっており利用者も残念がっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	居室は施錠しない。ミーティングや日々の申し送り時など、身体のみならず、言葉の対応についても拘束にならないように点検しています。	施設の方針として拘束のない支援に取り組んでいる。身体拘束ゼロの対応マニュアルを基に周知・徹底に努めている。合わせて年2回の身体拘束防止委員会で意識を高めている。転倒を防ぐため家族の了承を得て人感センサーを使用することがある。また、ベッドからの落下防止を図るべく低床ベッドを用いたり、床に布団を敷いたりして工夫を重ね安全の確保に努めている。職員が必ず1名は食堂にいるよう心掛け、きめ細かな所在確認に努めている。	

斑尾の森グループホームふるさと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティング等で管理者やその日のリーダーが、職員に高齢者虐待防止についてはなし、職員同士でも常に相談しあいながら防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	朝礼の時やミーティングでスタッフ全員に周知してもらい日頃の活動に生かしています。また、成年後見人を設けている利用者様もいるためご意見もいただいています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、家族や利用者に関わりやすく説明し、不安や疑問があれば理解・納得されるまで十分時間をかけています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の際は、気軽に意見や要望を言っていたり心掛けています。また、「ふるさとだより」発送の際、アンケートも取らせていただき、貴重なご意見をいただいています。	利用者の平均介護度は2.4という状況で、ほとんどの方が意思表示の出来る状況にあり、言葉や表情から思いを受け止め支援に取り組んでいる。現在、家族が来訪しての行事等の開催が難しい状況が続いているが、テレビ電話での面会と窓越し面会を短時間であるが再開し家族の顔を見て安心される利用者が多いという。ホーム便り「ふるさとだより」を個人別に年4回作成し、また、担当職員よりの手紙を添え家族に届け喜ばれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々のミーティングや活動の中で気が付いた点や、提案等気軽に職員が発言できる環境づくりに心掛けています。	日々のミーティングで利用者状況、連絡事項等の徹底を図っている。また、朝、夕の申し送りや気づいた事柄をきめ細かく共有し、ケアの中に役立てている。年1回、評価票を用い自己評価を行い、管理者による個人面談も行われ、評価と合わせモラルアップにも繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	新人スタッフ研修、ステップアップ研修、職場外研修など積極的に参加できるようにし、キャリアアップを目指してもらっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を受けられる機会を増やし、一人一人がスキルアップしていける環境作りに努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ前は毎月、市の連絡会に計画作成担当者は参加し、勉強しています。そこで得た情報はミーティングで報告しています。今はオンラインでの研修をできるよう環境を整えているところです。		

斑尾の森グループホームふるさと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアプラン立案時や困った様子がみられた際は、傾聴したり要望を聞くなどして利用者様が笑顔で安心して生活できる様心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の想い・困っていること・要望などを聞き、書きとめ、ケアプランに反映させ、良好な関係が築けるよう努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の想い、現在の状況を確認し、自立支援や役割、暮らし方を探り、実現可能なものになるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の意向・気持ちを理解し、話をしながら、家事や排泄介助を行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際は、日頃の様子を口頭やビデオ、写真などで説明しています。言葉だけでなく、目で表情や動作や職員との関わりも見えるので安心されます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設に来たり、外泊したりして、知人や親戚の人との触れ合いは勿論ですが、近くの畑でも立ち話ができるよう、外に出ることに努めています。	近隣住民の方から日常的に季節の野菜や果物を届けていただき感謝している。平常時であれば、友人、知人の来訪があるが現在はコロナウィルス感染防止のため中止している。親戚や知人と手紙のやり取りをされている方が数名いる。また、年末には利用者の希望に沿い、個人別に年賀状を作成し家族に出している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様をよく理解し、個別に話を聴いたり、調整役となり、仲良く楽しく過ごせるように努めています。		

斑尾の森グループホームふるさと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所に移られた場合も状態などを家族に聞いたり、相談にのったりするように心掛けています。当施設で看取った利用者さんの家族とも関係が続いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「入浴すること」が一番の楽しみと言われる利用者様は体力低下が目立ちますがご家族や職員間で相談し本人の願いをかなえるべく、下剤をコントロールして週2回入浴していただいています。	食事の時のエプロン選びや入浴後の飲み物選び等、全ての事柄について押し付けにならないよう幾つかの提案を行い、好みに合わせ選んでいただくようにしている。また、リング等、季節のものは手に取っていただき、肌で感じられるようにしている。困りごと等、プライバシーに関することは居室において細かく話を伺い対応するようにしている。日々の気づいた事柄については介護支援経過に纏め、状況を職員間で共有し支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所の際の聞き取りだけでは不十分なので、日々の会話の内容を家族に確認しながら、利用者さんを理解し、馴染みの暮らし方・生活環境に近づけるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の担当者が利用者さんとの関わりの中で、身体的・精神的状態を把握し、必要な支援を行い、記録し夜勤者に申し送っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の選択、意思決定を大切に、プライバシー保護や尊厳の保持に努め、自立支援に向けた援助について、他職種で意見を出し合って介護計画書を作成しています。	職員個々に利用者本人の意向を確認し、出来ること、出来ないことを伺い、家族の希望も聞いた上で本人が安心して暮らして自立に繋がるような介護計画を作成している。プラン変更時にカンファレンスを開きケアマネジャーが意見を集約しプラン作成に当たっている。長期目標は1年、短期目標は6ヶ月とし、状況に変化が見られた時には随時の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日の担当者が個人記録にケアの実践や結果、気づきなどを記録し、夜勤者に申し送りを行っています。夜間の様子は、当日勤務の職員全員に報告しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医師の訪問診療や訪問看護師による健康管理のほか、理髪や歯科医の往診など、必要なニーズに早期に対応しています。		

斑尾の森グループホームふるさと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事などには近所の人にもお手伝いをお願いし、利用者さんが安全に楽しく参加できるようにしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医による毎月2回の定期的往診や週1回の訪問看護師による訪問等により定期的に健康チェックが行われ、また急変時にも対応していただき医療連携がとれています。本人の希望はもちろんの事、ご家族が立ち会う場面もあります。	全利用者が第2・第4木曜日の協力医の定期往診を受けている。また、週1回、水曜日には24時間対応の訪問看護師の来訪があり、健康管理に合わせ医師との連携を取っている。歯科については必要に応じ協力歯科の往診で対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日のバイタルチェック、排便の有無、尿の性状などや様子でいつもと違うときは、看護師に報告しています。看護師は医師に相談し、指示を実践しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	現在医療連携が取れているため、ほぼ入院せずに対応できています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の医療選択や看取りについては、施設職員だけでなく、医師、訪問看護師、ご家族が電話もしくは一同に集い、情報を共有し、支援をしていきます。	重度化や終末期に向けたホームとしての指針があり利用契約時に説明し同意を頂いている。終末期に到った時には家族、医師、ホームで話し合いを持ち、医師より状況をお話いただき改めて同意書にサインを頂き看取り支援に取り組んでいる。この1年以内に4名の看取りを行い、葬儀の手配も行うこともあり、家族より感謝の言葉を頂いている。看取り後には振り返りの機会を持ち、反省、疑問点を出し合い次回に繋げるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変(救急車が到着するまでの対処方法)については、ケースの想定をしながら、話し合いを繰り返し行っています。事故発生時も同様です。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昨年の台風のこともあり今一度災害マニュアルを見直し、職員にも周知徹底を行い、近隣の方、他事業所とも情報共有し、いざとなったら協力していただける体制を築いております。	年2回消防署へ届け出の上防災訓練を行っている。昨年の台風19号の教訓を生かし土砂災害、水害を想定しての避難訓練中心に実施している。利用者と職員、全員分のヘルメットが準備され、声を掛け合いお互い確認しつつユニット間を移動しての訓練を行っている。そのうち1回は消防の参加をいただき、消火器の点検、緊急連絡網の確認も行い、合わせて近所の方への協力要請も行い承諾を頂いている。備蓄は食料品が1週間分準備されている。	

斑尾の森グループホームふるさと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の立場に立ち、声掛けの際もご利用者様を尊重して行い、その人らしさを守ったケアを心がけています。もしご利用者様が失敗しても大きな声を上げるなどせず言葉にも気をつけております。	何が不快か、利用者の立場に立って考えるようにしている。排泄については特に気配りをし、周りにわからないように対応している。また、食事の席の配列等にも気を遣い、気持ち良く過ごしていただけるようにしている。呼び掛けについては希望を聞くが、基本的には苗字に「さん」付けでお呼びしている。入室の際にはノックと「失礼します」の声掛けを忘れず、プライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に優しい言葉遣いをするように心がけ、何でも話していただけるように努めています。傾聴することを大切にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者さんの意向や気持ちを尊重し、その人のペースで生活できるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えの際は、着たい服を選択していただき、身だしなみについても必要な時に、声掛け又は支援しています。化粧している利用者さんもいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者さんのできること、得意なことを生かしながら、安全に作業ができるよう支援しています。職員も一緒に会話し、食事や片づけを行っています。	ほとんどの利用者が自力で食事が出来る状況である。調理職員が2名おり、1週間分の献立を立てている。新型コロナウイルス禍の中、食事の重要性を考え、彩りを豊かにしつつ見た目も楽しめるようにし、温かい物は温かいうちに食べていただくよう心掛け、調理に取り組んでいる。季節の新鮮な野菜をふんだんに使い、お米も施設の田んぼで収穫したものを使用している。誕生日には好きな物を提供し、正月、雛祭り等の行事には季節に合わせた料理を出している。また、「おはぎ」が好きな方が多く、時折、作り楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重の変化や身体の状態に応じて、食事の量を加減しています。水分量を測定し、脱水予防を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分でできる方は、声掛けや見守りを行い、そうでない方は、毎食後義歯洗浄・口腔ケアを行い、肺炎の予防をしています。		

斑尾の森グループホームふるさと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者さんの動きを敏感に察知し、自尊心を傷つけないよう、個々に応じた介助を行っています。おむつを使用されている方でもトイレで排泄していただいています。	一部介助の方が8割強おり、その他の方が全介助という状況である。職員は排泄表を用い個々のパターンを把握している。起床時、食事前、就寝前等の定時誘導に合わせ、それぞれ落ち着きのないような動きが見られた時にトイレ誘導し、気持ち良く過ごしていただいているようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方は、牛乳やヨーグルト、十分な水分を摂取していただいています。医師に相談し、個々に適した下剤を服用していただいています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一番風呂は、皮膚トラブルのない利用者さんは交代で入っていただいています。利用者さんが入りたくない日は無理せず、翌日に入っていただいています。	全利用者が声掛けと介助が必要な状況となっている。週2回、入浴を行い、現在は入浴拒否の方もなく全員が入浴出来ている。入浴剤のほか、「菖蒲湯」「ゆず湯」等の季節のお風呂も楽しんでいる。入浴時の安全確保のため入浴日の月・火・金の各曜日は看護師が必ず勤務し、入浴介助を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、散歩・リズム体操・歌を歌うなど活動的に過ごし、生活リズムを整えるよう支援しています。室温管理や掛け物調節も行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を個人別にファイルしており、副作用や用法などが誰が見てもすぐ分かるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	人の役に立ちたい、出来ることはしたいと皆さんがおっしゃられます。利用者さんの性格や能力に合わせた家事や仕事を一緒にを行っています。食事や散歩、行事なども楽しみの一つとなっています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の天気や個々の体調を見て野外に出たり時にはドライブがてら飯山市にあるドラックストアまで買い物に出掛けるなどしています。	外出時、手引き歩行の方が数名、車いす使用の方が8割強という状況である。天気の良い日にはホームの周りを散歩したりベランダに出て外気浴を楽しんでいる。年間の行事計画があり、春のバラ公園見学から秋の収穫祭まで外出が計画されている。今年度は新型コロナウイルスの影響で外出が難しい状況にあり、ドライブで車中より風景を楽しんでいる。	

斑尾の森グループホームふるさと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族によって、金銭所持の意向が異なるため、本人の気持ちや意向を尊重し、家族と相談し決めています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者さんの希望に応じて、常日頃電話や手紙が出せるように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	過剰な湿度がなく、明るく・広い快適な施設になり、体調を崩す利用者さんが少なくなった。ベランダに出て、季節を感じていただき、時にはお茶を飲んだりしました。	事務所を挟むように両ユニットがあり、陽当たりの良い中央部分には広いベランダと日除けパラソルが設置され寛ぎのスペースとなっている。食堂兼リビングはキッチンと一体的な造りで開放感が感じられる。廊下の壁には職場体験で来訪した中学生から贈られた写真や報告書、また、日々様子を写した写真が数多く飾られ、日々の活動の様子を窺うことができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂や居間は一体的な造りで、全てが視界に入りやすくなっています。テーブルや椅子の位置を考慮し、落ち着いてくつろげるように取り組んでいます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人やご家族に自宅のベッドの向きやお部屋に置かれていた馴染みのもの、使い慣れたものをお聞きし、本人が居心地よく過ごせるようにしています。中にはお地藏さまやこけしを置かれている方もいます。	綺麗に整理整頓された各居室には使い慣れた家具、椅子、テレビ等が持ち込まれ、暮らし易いように配置されている。また、壁には塗り絵等の自分の作品や家族の写真が飾られ、思い思いの生活を送っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	身体状況が変わった場合は、持参のベッドから介護用のベッドに変えています。自立を促し、かつ安全に生活できるスペースや環境づくりを心掛けています。		